

気候変動下の気象災害の動向と 農業災害リスクマネジメント

日時：2016年**11月15日(火)13:00～17:30**

会場：**日本学術会議講堂**(東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口徒歩1分)

開催趣旨

近年の気候変動により、我が国においても気象災害の頻発化、激甚化が懸念されている。また、我が国は地震等の自然災害のリスクも高く、これらの災害は、農業生産にも多大な影響を与え、食料供給における大きなリスクとなりうる。さらに、気候変動下では、農業気候資源の不足や過剰によって引き起こされる農業気象災害のリスクも増大する。農業生産に影響を与える気象災害や自然災害の動向を踏まえ、リスクマネジメントの観点から、農業災害の低減や食料生産の安定化を図るための研究・技術開発が望まれる。

本シンポジウムでは、近年の気象災害等の状況やそのリスクマネジメントの動向を概観し、農業災害リスクマネジメントに向けた研究・技術開発の方向性について、農業生産環境工学的視点を中心に議論する。

プログラム

- 13:00 開会挨拶 大政謙次(日本学術会議第二部会員、東京大学名誉教授)
- 13:05 趣旨説明 荊木康臣(日本学術会議連携会員、山口大学大学院創成科学研究科教授)
- 講演:13:10-16:45
- 前半司会:北宅善昭(日本学術会議連携会員、大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授)
- 13:10 気象災害マネジメントにおける気候変動予測の重要性
山形俊男(日本学術会議連携会員、海洋研究開発機構アプリケーションラボ所長)
- 13:50 気候変動下における気象改善の方向性
真木太一(日本学術会議連携会員、九州大学名誉教授)
- 14:30 近年の農業気象災害の特徴と自然災害の動向
山本晴彦(山口大学大学院創成科学研究科教授)
- 後半司会:平野高司(日本学術会議連携会員、北海道大学大学院農学研究院教授)
- 15:15 熊本地震や強風・大雪による被害からみた農業施設のリスク管理
森山英樹(農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門上級研究員)
- 15:45 農研機構メッシュ農業気象データとその活用
大野宏之(農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター上級研究員)
- 16:15 気候変動適応に向けた全球規模での作物のモデルとデータの利用
飯泉仁之直(農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター主任研究員)
- 16:55 総合討論
- 17:25 閉会挨拶 橋本 康(日本学術会議連携会員、愛媛大学名誉教授)

主催：日本学術会議農学委員会農業生産環境工学分科会、環境学委員会環境科学分科会

後援：日本農業気象学会、日本農業工学会、日本生物環境工学会、農業施設学会、
農業情報学会（順不同）

参加費：無料(事前申込不要)

連絡先：荊木康臣(ibaraki@yamaguchi-u.ac.jp)